

◇保護者からの感想

リーダー養成塾に参加したい、と決めてから今ここに至るまで、やらなければならないこと、提出しなければならない課題の多さに時にへこみながらも頑張ってきました。

「リーダーになるために」ということだけではなく、リーダーとはそもそもどういったものか、自分はどのような人間なのか、自分は何ができて何ができないのかといったことも合わせて学んできたのではないかと思います。また初めて親元を離れ、集団生活を送ってきたことも講義とはまた別に多くの学びがあったことと思います。

講義ノートやレジュメといった目に見える形での結果だけではなく、今はまだ実感していても、これからの人生において迷いや不安が起きたとき、ここで得た経験とつながりは彼女の力になると思います。

最後になりましたが、このような機会を与えてくださった多くの方々にこの場をお借り致しまして御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

娘がリーダー養成塾より戻った際には様々な友人と巡り会い、たいへん素晴らしい体験をしてきたんだと素直に思いました。講師の先生のお話になったメモをまとめようとしたり、今までとは違ったように感じました。

学校の仲間を取り組む課題、体育大会の応援団のまとめりなど応援団長として今回の経験を活かし進めることでしょう。

今後は、学校や家庭のみではなく広い視野で行動してくれることを望みます。

全国、海外から学年も違う様々な考えを持つ人たちと出会い、多くの刺激を受けたようです。リーダー塾に行く前から自分なりに将来の夢をもっていました。リーダー塾に行ってみて自分に足りないもの、努力し伸ばさなければならない力を再認識し、自分の将来についてより深く考えるようになりました。

リーダー塾に参加したことで、自分の目指すリーダー像が明確になり、コミュニケーション力、広い視野、深い学び、積極性など学校生活ではなかなか得られない学びができたとおもいます。

リーダー塾で学んだことを学校生活の中でいかせているようです。

リーダー塾事務局、岐阜県庁担当課、16期生の皆さん、娘が14日間お世話になり本当にありがとうございました。16年前より構築されてきたリーダー塾の歴史の中で、7月に16歳になったばかりの娘が、16期生として参加させていただいたご縁をととても感慨深く感じます。全日程を終え8月8日セントレア空港到着ロビーに姿を見せた岐阜県塾生の誇らしい笑顔と、一回りも二回りも立派に凜と成長した姿を見た時、とても胸が熱くなりました。今も忘れることは出来ません。娘と歩いたアクセスプラザまでの僅か数分の時間、将来の夢について話してくれてありがとう。母としてとても幸せに感じました。

これから先の人生において、リーダー塾で学んだこと、そして、16期生の合唱“Hey 和”の歌詞にある「君の為に何が出来るのだろう」という言葉をいつも忘れることなく、惜しみない努力と周りの方々への感謝の気持ちを常に心に持ち、夢に向かって精一杯生きていって欲しいと娘に願います。

リーダー塾のますますのご発展と、かけがえのない素晴らしい日々を一生の友と過ごさせていただきましたこと、心よりお礼申し上げます。

帰ってきて語った言葉が、『リーダー塾に参加していなかったらと思うと、ゾッとする！』弟にも、『行った方がいいよ。』とその言葉を聞いて、充実した2週間を過ごして来た事を確信しました。

実は息子の幼いころ、まわりの親は子どもを英会話塾など通わせていましたが、私はその様な塾には通わせておりませんでした。息子には、英語は話せなくても、話せる人の上にとたたって、動かせるぐらいの人物になれば良いと言い聞かせていました。本心は、英語が上達して日本から、親から、離れてしまいそうな気がしたからです。

世界を知りたい、留学したいと聞いた時は、正直複雑な気持ちでした。頼もしいような、さみしい様な、やっぱりこうなるのかあと。今回、参加して一生付き合える、意識しあえる仲間が出来たみたいです。(違う意味で意識する仲間も出来たみたいですけど・・・)

ニュース番組を見ている時、〇〇県には〇〇さんがいる等と言っているのを聞くと他の仲間の皆さんが、岐阜県には宏伎がいると、岐阜県の知名度が少しは上がるかなと期待します。最後にリーダー塾の運営に関わった皆様に大変感謝いたします。

2週間家を離れての生活ということで不安はありましたが、笑顔で帰宅して来た時に充実した時間を過ごしてきたことがわかりました。とても貴重な経験をして一回りも二回りも成長した息子がそれを活かして多方面で活躍していくことを期待していますし、支えていただければと思います。

高校生活は楽しいけれど、将来の夢など深い話ができる友人がいない。

穏やかな毎日だけど、情報や刺激がない。

そんな毎日を変えるきっかけになればと思い、参加を勧めました。

参加を勧めたものの、人見知りの子供が2週間集団生活を楽しめるのかと、不安に思うこともありましたが、空港で迎えた時の晴れやかな笑顔を見ただけで、参加させて良かったと確信しました。

このような素晴らしい機会を与えてくださり、本当に感謝しています

娘が、この塾でまず楽しみにしていたのは、たくさんの講師の方のお話を聞けることでした。家に帰ってきてから、論語をちゃんと読んでみようと思ったとか、これからは、映画のストーリーの裏にある意味を考えて観るのも面白そうだとか、今まで気づかなかったことや、深く興味を持っていなかったことにも関心を持つようになり、そのきっかけを作っていたことに、参加してよかったと思います。

また、今まで会ったことのなかった地域の子や、学校や生活スタイルの違った子と話をし、刺激になったようです。さらに、アジアの奨学生の子とも仲良くなって連絡先を交換し、日本に居ては得られない機会を得ることができて、貴重な交流をさせていただいたと思っています。

もちろん、若田さんと握手できたことや、明石さんのお話を英語できいたこと、マハティールさんのお話を近くできけたことも本当に喜んでいました。

担任の先生、大学生の方、企画・運営をしてくださった全ての方々に感謝しています。ありがとうございました。

このたびはリーダー塾に娘が参加させていただき、誠に有り難うございました。

彼女なりに、自分の現状を打破したいとか、自分では何ともならない思春期のもやもやを打ち破りたくて参加を希望していたのではないかと思います。

娘が帰ってきたときの様子を見れば、塾に参加している間中、レベルの高い刺激を受け続けたことがわかりました。

携帯を無理やり取り上げるという、ありそうでなかなか親では作り出せない状況を演出していただき、感謝しています。

娘の視野が確実に広がっています。

「『リーダー養成塾』に参加したい。」と私に話をしたのは、高校3年の4月の終わり頃でした。高校に入学してからは、毎年夏休みは、部活に参加しており、今年は引退して、希望の進路に向けて色々考える所があったようでした。中学生の時にもリーダー養成塾に、参加させて頂き、とても充実した体験だった様でしたので、今回も参加出来るのなら、色々調べた所、全国から、また外国からの参加者、遠方での開催など、親の私が「大丈夫なの？大変そうだよ。」と二の足を踏む対応をしてしまいました。けれど、本人が「参加したい。」と強い意志を持っていたので、送り出しました。帰宅してからの開口一番は「楽しかった」でした。友達も、講義も、すべての体験が素晴らしかったと。親の欲目かもしれませんが、顔つきが変わったきがします。自信に満ち溢れている様です。リーダー養成塾を受講させて頂き、心から良かったと思っています。

家族と長期間離れて生活することに本人も親も心配していました。人見知りするところもあり、たくさんの学生とうまくやっていけるのか？と塾の期間中考えていました。実際はクラスの仲間と考え発表したり、様々な分野の講師の先生方の講義は娘にとって有意義な時間となりました。その中で娘から「将来について見つめ直す良い機会となった」という言葉があり、このリーダー塾への参加は娘の成長を感じることができました。